



税理士 木村 聡 会員

空知支部

税理士法人TACS訪問

事務所継承までの経緯

木村会員は、もともとは映画に大変興味があり東京大学文学部へ進学しましたが、26歳の時に地元である岩見沢市に戻り父親の故・木村伸男会員の事務所に就職しました。その後、平成2年に税理士試験に合格し、平成19年に法人化したのち、事業を承継しました。

事業承継は様々な問題に直面しますが、木村会員がまだニューメンバーズ会員であったときに、加藤恵一郎前北海道会会長から事業承継の実体験を聞く機会があり、その際、個人事務所を法人化することを考えたそうです。個人事務所の承継は、職員に退社と入社の手続きをと

ってもらわなければいけないなど手続きが煩雑である一方、法人化することにより職員が安心して働くことができる環境を整えることができます。また、個人名をついた事務所名を税理士法人TACSにすることで、今後優秀な人材が承継者になれるよう考慮しました。

事務所の特長

木村会員は、「貢献」ということを常に目指しています。青年会議所に所属し街づくりに貢献するなど、自利利他の精神で地域活動に参加し積極的にコミュニケーションをとることで地域での信頼を獲得してきました。

関与先に対しても、グループ企業の株式会社



CBCを通じ、保険業務や人材派遣など、地方の中小企業にワンストップサービスを実現させ、より地域社会、中小企業の繁栄への貢献を目指しています。

プライベートでの活動

岩見沢市では毎年夏に、いわみざわ公園野外音楽堂キタオン周辺で「JOIN ALIVE ジョインアライブ」という音楽フェスティバルが開催されています。木村会員はNPO法人の役員として、コンサート運営会社と協力し、このような地域文化活動に参加することにより、公私両方において地域活動に参加し、貢献しています。

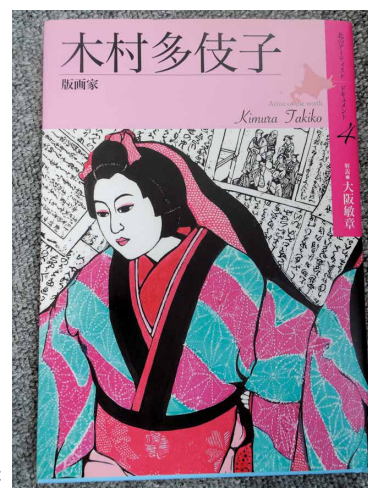
また、母である木村多伎子さんは90歳になった現在でも木版画家として活動しており、税理士である父と芸術家である母を持った木村会員は両方の側面を持ち合わせ、それを地域社会への貢献に活かしているように思いました。

TKC会員へ

「ぜひ広い視野を持って税理士の仕事を活かしてほしい。税理士の存在価値を常に自身に問

いかけ、時代の変化に対応して自分の役立つ場所を見つけ出して下さい」また、「企業防衛、リスクマネジメントの活動もよろしく願いいたします」とおっしゃっていました。

(札幌西支部 河村 聡子)



木村多伎子さんの本

